

公開シンポジウム

1982.1.6.

主催: 愛知技術教育研究会

『日本の技術史をみる眼』のご案内!!

昨年『楽しい技術史』のテキストを作成し、ひょうろつマの日本の技術史について研究しようという事で「技術史をみる眼(技術と人間)」「火縄銃から黒船まで」「木判・生糸・和紙」(岩波新書)の著者 奥村正二氏に技術史をみる眼をどう育てたのかとかまた本に書けなかった部分の話しなどを直接お聞きし、私たちが技術史を勉強していい上で参考になればと著し企画しました。

技術史に興味と関心のをお持ちの方は是非ご出席下さい。

日時: 1月24日(日曜日) 午後1時頃 終了後懇親会あり

会場: 名古屋市教育館第二研修室 (地下鉄栄下車3番出口) (印傍歩分、駐車場なし)
中區錦三丁目16番地 電話 052-961-2541

報告: 『岐阜地方の技術史をどう見極めたか』 高橋伊伸氏 (関西工業高等学校)

講演: 『日本の技術史をみる眼』 奥村正二氏 (岩波事務所)

報告: 『技術史を授業にどう生かすか』 石田正二氏 (刈谷工業高等学校)

会費: 1000円 (資料代等)

尚、終了後4時30分頃奥村氏と懇談して懇親会を開催する予定で都合がつかない方はご出席をお断りしお詫言付で3000円を添えて申し込んで下さい。(連絡先: 052-2-0975 事務局)

